

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の区との必要な手続きを適正に行った。また、管理業務の一部を第三者に実施させる場合の区への事前通知や承認等、協定に沿って適切に手続きがなされ、日頃から区との情報共有に努めた。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	事業計画書に則り、特別展、企画展、一葉祭等の実施や、前年度に引き続き、人気アニメとのコラボレーションを実施したが、来館者数は減少となった。区、一葉協賛会、地元町会等の関係団体と連携を図るなど、概ね適切な事業運営がなされている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	備品及び物品の管理は適切に行われており、施設の修繕や工事についても区と連絡を取り合い適正に行った。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	来館者感想ノートの設置やアンケートを実施し、利用者の要望に応えるようサービス向上に努めている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	経費節減に努め、適正に予算の執行がなされているものの、入館料収入が前年度比及び予算比ともに減少しているため、入館者数増の工夫が必要である。
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (92 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>一葉生誕145年を記念した展示や事業に取り組み、より多くの方々に一葉記念館を知って頂けるように努めた。昨年度より入館者が低下している状況にあるため、引き続き入館者数増の取組みが必要であるが、良好な管理運営がなされている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>昨年度に引き続き、人気アニメとのコラボレーションなど入館者数増の取り組みを行ったが、新たな来館者の開拓につながったとは言えない。 一葉祭開催期間の日数減等により無料入館者数が減少した。</p>